

教職員の校務の現状について

令和4年2月3日(木)

港区教育委員会事務局学校教育部教育人事企画課



校務の情報化に向けた取組の概要



校務の端末整備環境

校務で使用するPC端末として教員用端末と学習用端末を配備しています。
教員用端末は、主に職員室に配備したPC端末(Windows10)で成績処理等の機微な情報にアクセスして活用します。
学習用端末は、主に教室に配備しており、電子黒板と接続してデジタル教科書や教材等の提示に活用しています。



1人1台のGIGA端末の自宅持ち帰り

児童・生徒1人1台のタブレット端末(iOS端末)環境は令和2年10月に実現しています。
教職員にも1人1台の端末環境を実現しており、校内だけでなく自宅に持ち帰って使用できるようにしています。
GIGA端末はWi-Fi接続モデルのiPadを採用しています。



大型提示装置(電子黒板)等の整備

すべての普通教室等に電子黒板を配備しており、教員は教材の印刷準備等を行うことなく、教材提示することができます。
また、全教室にGIGA端末(iOS端末)と無線接続することができるApple TVを配備しており、だれでも、すぐに電子黒板に投影することができる環境を整備しています。



ネットワークの整備

高速大容量のネットワークを整備し、1Gbpsの快適な通信環境をすべての学校で実現しています。
PC端末は教員用端末、学習用端末ともにLANで接続をすることにより良好な通信環境を実現しています。
GIGA端末も無線アクセスポイントを強化することにより、快適なWi-Fi接続環境を実現しています。



クラウドを活用した校務

教員の連絡ツールでは、Microsoft Teamsを主な手段となっています。
校内の会議を減らしてTeams上での情報共有を行い資料のペーパーレス化を図っている学校、校内でTeamsを使用して職員打ち合わせを行っている学校があります。
教員の研修等もオンラインで開催することで、業務時間の削減を行っています。



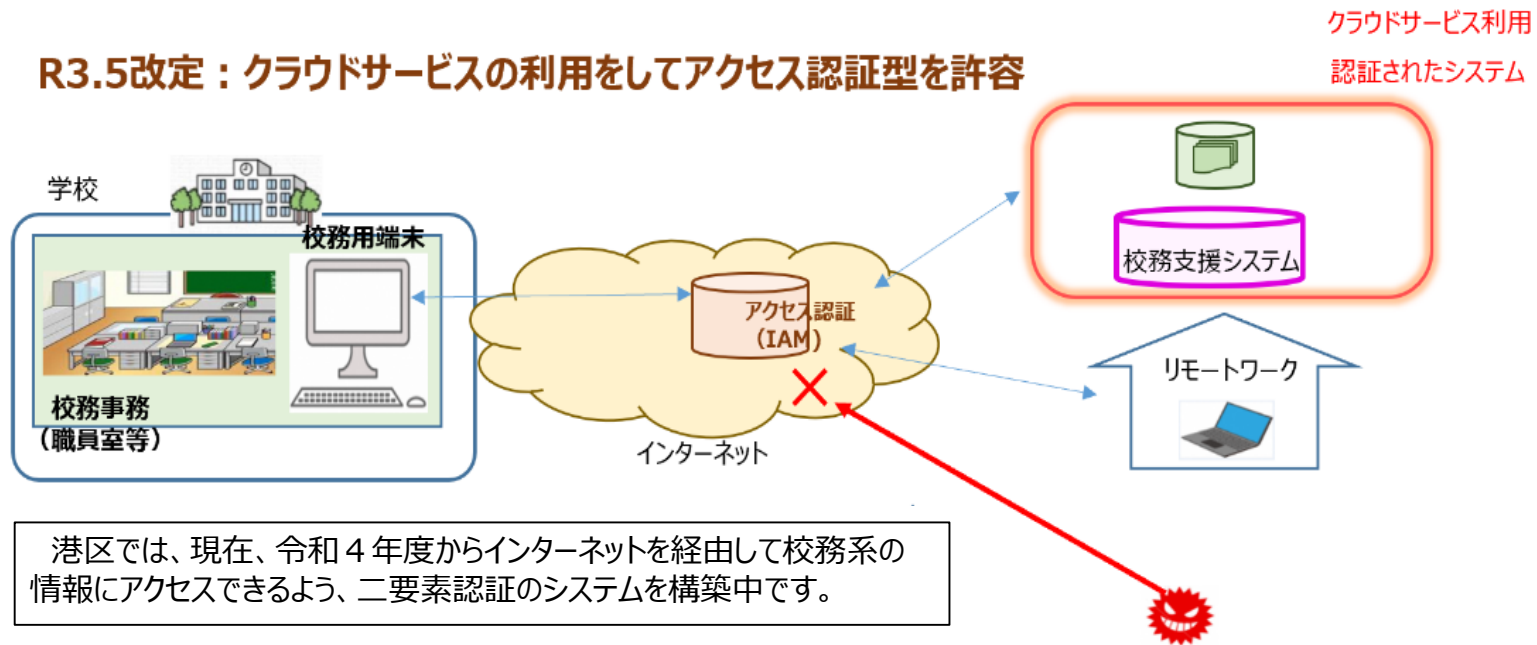
情報発信に関する校務

学校の情報発信は、HP、配信メール、クラウドサービス(まなびポケット)の保護者機能、Twitterでも行っています。
手軽に学校外からでも発信できるようGIGA端末に加えて、各学校にスマートフォン(iPhone)を配備しています。
クラウドサービスでは、子どもの欠席連絡を受信したり学校だより等の電子配布を行っています。

校務の端末整備環境

校内で教員が成績等の個人情報扱うPC端末として教員用PC端末 (Windows10)を配備しています。教員用PCからは、インターネットから隔離している校務系システムにアクセスしています。

R3.5改定：クラウドサービスの利用をしてアクセス認証型を許容



令和4年度からは、二要素認証によるアクセスによって、校務系の情報にインターネットを経由して、アクセスできるようにします。GIGA端末 (iPad)から、出欠席の入力や記述評価の入力など、一部の情報にアクセスできるようにします。

1人1台のGIGA端末環境の実現



令和2年度に配備しているGIGA端末(iPad)により、教員の働き方が大きく変化しています。配布物の電子化、面談や保護者会のオンライン実施、教員間の情報共有、教員研修のオンライン化により、教員が子どもと向き合う時間が増えてきています。

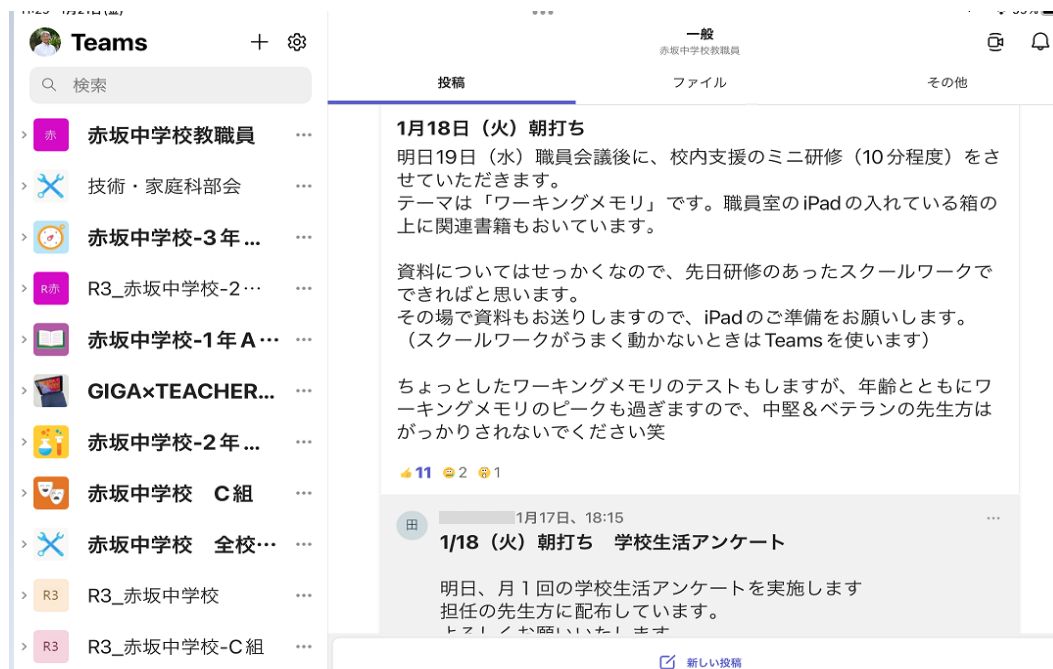
1人1台のGIGA端末環境の実現



すべての普通教室や特別教室等に電子黒板などの大型提示装置を配備しており、教員は教材の印刷を行ったり、新たに教材を作成したりするなどの準備を行うことなく教材提示しています。

また、全教室にGIGA端末(iPad)と無線接続することができるApple TVを配備しており、だれでも、すぐにGIGA端末から大型提示装置に投影することができる環境を整備しています。

クラウドを活用した校務



Microsoft Teamsを活用して、教員が日常的な情報交換や研修を行っており、業務時間を削減することができています。

Teamsで情報共有することにより、校内の職員会議等の回数を減らしています。また、Teamsで電子データによる情報共有を行うことで資料印刷することなくペーパーレス化が実現しています。

また、校内でTeamsを使用して短時間の職員打ち合わせを行っている学校もあります。感染症対策だけでなく、会議に参加できない教員も会議録画を視聴するなどして情報共有しています。

情報発信に関する校務

学校からの情報発信は、ホームページ、配信メール、学習用クラウドサービス(まなびポケット)の保護者機能、Twitterでも行っています。



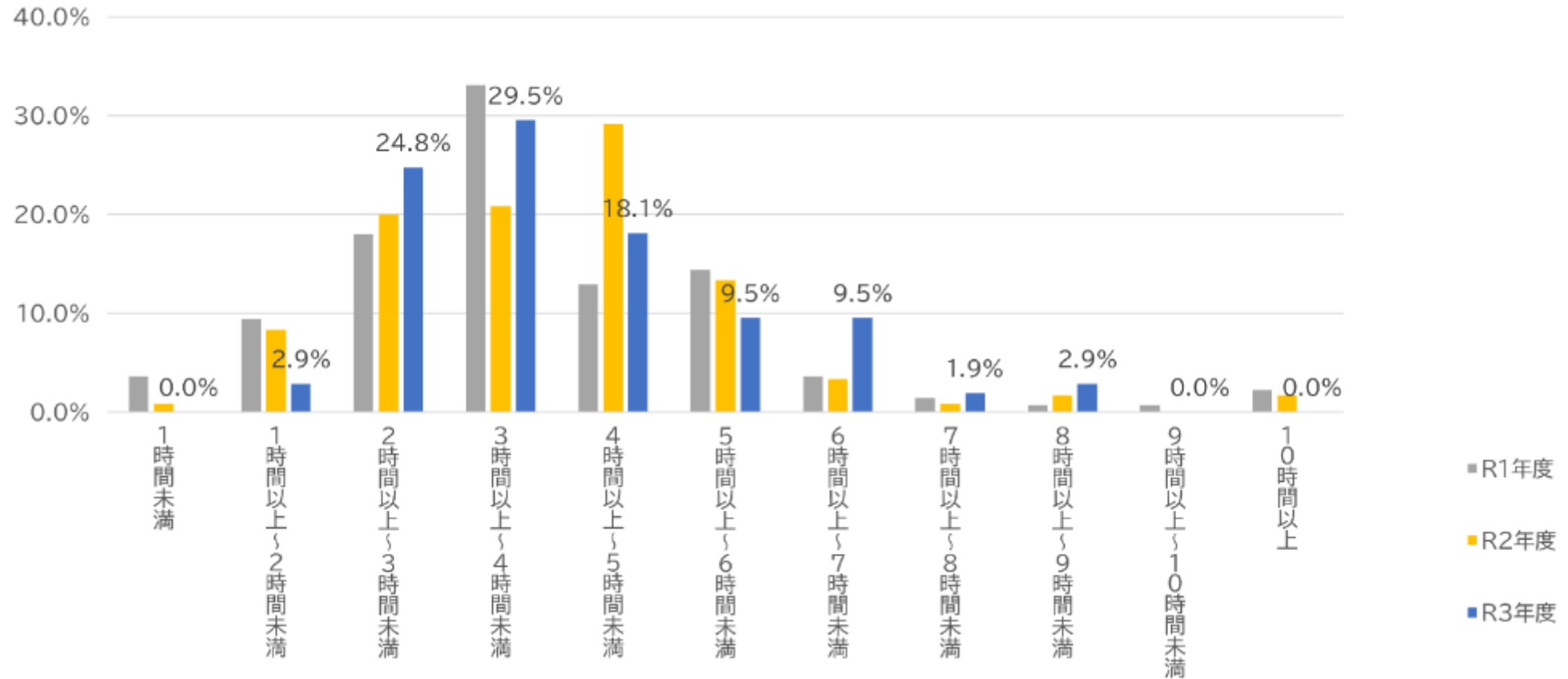
港区で採用している学習者用クラウドサービス(まなびポケット)の保護者連絡機能を活用して、子どもの欠席連絡を保護者から受信したり、学校だより等の配布を行ったりしている学校があります。

手軽に素早く学校外からでも情報発信したり、緊急時の連絡を受信したりできるようGIGA端末に加えて、各学校にスマートフォン(iPhone)を配備し、Twitterを活用した情報発信を行っています。

校務を使用する教員の実態

校務でパソコンを使用している1日の時間の分布(経年比較)

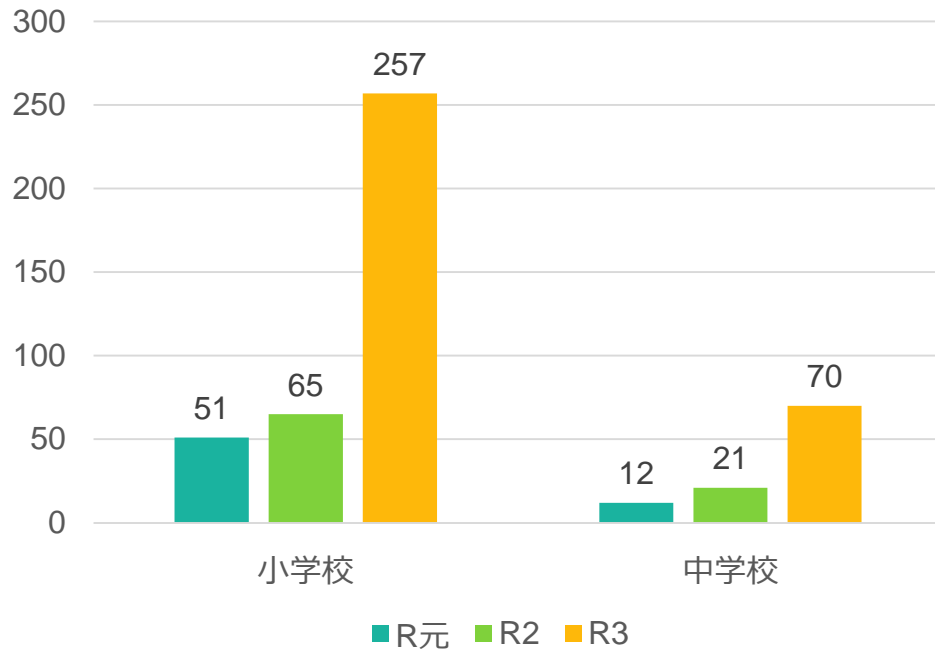
中学校



令和3年度、1日に校務で教員がパソコンを使用している時間が最も多い割合は、「3時間以上4時間未満」です。年々、使用時間の割合は増加傾向にあります。

校務の整備による成果

ICT機器導入により、校務は効率化されましたか。



内 赤坂中学校

週間予定表 2日間 今日

お知らせ ★ ・【港区教職員厚生会】俳優座観覧の募集について NEW! ★ ・【港

MORE

先週

	1月17日(月)	1月18日(火)
勤務+		
行事	・ユニセフ募金 ・全校朝礼	・ユニセフ募金

毎年、教員を対象に行っているICTに関するアンケート調査において校務におけるクラウド利用前後を比較すると、小学校で5倍、中学校で7倍の教員が効率化されたと回答しています。

教育委員会から教員に直接伝えられる情報提供については、校務支援システムで送付しています。また、校園長の定例会等もオンラインで開催することで管理職が学校運営に専念できる時間が大幅に増えています。

港区GIGAスクール構想

新たなステージへ

港区では、令和2年10月末までに区立小中学校の全ての児童・生徒及び教職員に1人1台のタブレット端末を配備し、GIGAスクール構想を実現しています。

Before ~令和元年度



ICT支援員の活用
全小中学校で2週間に1回程度の支援



ネットワーク環境の強化
高速大容量の通信ができる無線LAN環境整備

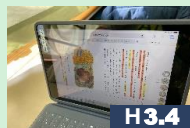


電子黒板の配備
上記期間までに全教室に配備



タブレット端末1人1台配備
H30 小学校モデル校1校
H31 中学校モデル校1校

GIGAスクール構想の実現 令和2年度～令和3年度



デジタル教科書の整備
全ての児童・生徒に国語、算数・数学のデジタル教科書を配備



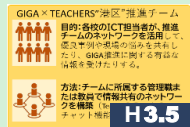
ネットワーク環境の強化
無線アクセスポイント増強



タブレット端末の配備
全ての児童・生徒及び教職員に1人1台配備実現(約14,000台)



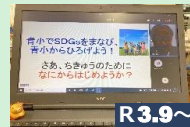
“5G”の検証
新たな高速大容量通信環境の検証



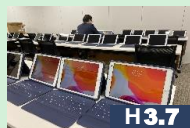
GIGA×TEACHERS“港区”推進チーム
GIGAスクール構想を推進する教員の情報交換プラットフォーム開始



オンライン保護者会の実施
保護者会、個人面談などのオンライン化



オンライン授業環境の整備
ハイブリッド型授業の実施



GIGAサポーターの配置
教育センターにICT支援員配置



家庭学習用の通信環境整備
1285台のWi-Fiルーター貸与開始

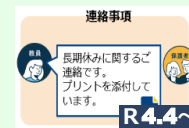


フィルタリング機能強化
コンテンツフィルタリング設定

ネクスト Next“GIGA” 令和4年度～



CBT化の推進
CBT(Computer Based Testing)による学力調査の実施



家庭と学校の連絡機能整備
保護者への手文書配布、出欠連絡の電子化



情報モラル教育支援
情報モラルの向上
安全・安心なICT活用



GIGAスクールタスクフォースの設置
教育ICTアドバイザーからの助言を受け、機器の効果的効率的な活用を推進



港区では、令和4年度以降もGIGA端末を活用して、教員の働きやすい環境を実現するNext“GIGA”の取組を一層推進していきます。